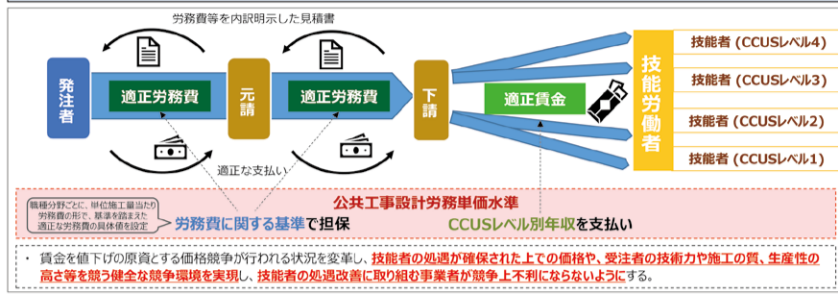




労務費に関する基準の考え方とその実効性確保策のパッケージ

「労務費に関する基準」により、公共工事・民間工事を問わず、下請取引を含めて適正な労務費(賃金の原資)を確保するとともに、「CCUSLレベル別年収」による、個々の技能者の経験・技能に応じた適正な賃金の支払いを目指す。



- 入口での取組 (契約段階における実効性確保)
出口での取組 (労務費・賃金の支払いの実効性確保)
公共工事における上乗せの取組

労務費に関する基準とは
東京都の労務費の基準値
鉄筋工事(建築)における鉄筋工事の労務費の基準値: 東京都

労務費に関する基準ポータルサイトとは、労務費に関する基準の本文をはじめ、労務費の基準値、その他関連する施策についての情報を閲覧することができます。
URL https://roumuhi.mlit.go.jp/

【建専連共通仕様版(鉄筋工事編)】

【標準見積書(国土交通省提出版)】

「改正建設業法」
昨年12月12日から改正建設業法の全面施行により、労務費に関する基準(標準労務費)をベースにした見積もり・契約規制が施行されました。
◆◆◆是非、季刊誌POWER改正建設業法 特別号 を読み返してください◆◆◆



2026年度 登録鉄筋基幹技能者講習 開催地

Table listing training events with columns for location, dates, and participants.

全鉄筋の主な年間行事

- 令和8年度第1回理事会(前年度報告承認)
2026年5月27日(水) 14:00~ 会場: エッサム神田2号館スカイホール
社員総会(前年度報告承認、次年度計画承認)
2026年6月12日(金) 14:00~ 会場: ホテルインターコンチネンタル東京ベイ

http://www.zentekkin.or.jp/
又はQRコードでアクセス



# 各地区広報活動報告

## 千葉県鉄筋業協同組合



当組合は2025年に設立50周年を迎えました。これもひとえに、長年にわたりご支援・ご協力を賜りました関係各位の皆様のお力添えの賜物と心より感謝申し上げます。

同年11月に当組合設立50周年記念ゴルフコンペを開催。ご来賓として全鉄筋より岩田会長のほか、関東近県の組合役員の方々にもご参加頂きました。当日は天候にも恵まれ、ご参加の皆さまが交流を深めながら、終始和やかな雰囲気の中でプレーを楽しみました。この節目を新たな出発点と捉え、より一層鉄筋業界の発展に尽力してまいります。



## 愛媛県鉄筋業協同組合

### 創立50周年記念祝賀会開催

愛媛県鉄筋業協同組合は創立50周年を迎え、令和7年11月21日、ANAクラウンプラザホテル松山において創立50周年記念祝賀会を開催しました。県内外より多くの関係者の皆様にご臨席を賜り、半世紀にわたる組合活動の歩みを振り返るとともに、次代への決意を新たにす意義深い式典となりました。

式典では主催者を代表し、理事長 山本信二が挨拶に立ち、組合創立以来、鉄筋工事業の発展と地域建設産業を支えてこられた諸先輩方への感謝を述べるとともに、「我々は持続可能な建設業、職人の処遇改善を掲げ、活動を進めている。『未来予想図の描ける業界』には、入って欲しい業界から入りたい業界へ、若者が魅力を感じ、保護者が安心して送り出せる業界への強い願いを込めている。技術に誇りを持ち、そして仲間たちと共に思いをひとつにして新たな50年を築いていく」と決意を表明しました。

続いてご来賓より祝辞を賜りました。

愛媛県知事 中村時広様からは、「社会のインフラにおいて土台を支え

- 【主賓挨拶】 愛媛県知事 中村時広 様
- 衆議院議員 塩崎彰久 様
- 衆議院議員 山崎正恭 様
- 公益社団法人全国鉄筋工事業協会 会長 岩田正吾 様



中村知事



塩崎議員



山崎議員



岩田会長



山本理事長

る皆さんの業界が技術、職人の技で重要な役割を果たしている。また、近年頻発している災害に備えるためにも、業界の存在が極めて大きな役割を果たしている」とし、「これからも次の60年、70年に向けて技術を磨いていただきたい」と激励のお言葉をいただきました。

祝賀会では、組合50年の歩みを振り返る記念映像の上映や参加者同士の交流が行われ、組合の歴史と未来を共有する機会となりました。出席者はこれまで築き上げてきた信頼と技術を礎に、次の半世紀に向けて業界の発展に尽力していくことを改めて確認しました。

愛媛県鉄筋業協同組合は今後も組合員相互の連携を深め、鉄筋工事業の社会的役割の向上と次世代人材の育成に取り組み、地域建設業の発展に貢献してまいります。



祝賀会の様子(鏡開き)

交通基盤も岐阜県の発展を支える重要な要素です。東海北陸自動車道や東海環状自動車道が飛騨・美濃、さらには東海・北陸・中部圏を結び、広域ネットワークを形成しています。名神高速道路は県南部を東西に貫き、関西・中京圏を結ぶ大動脈として物流・産業活動を支えています。また、東海道新幹線の岐阜羽島駅は県南部の重要な玄関口として機能し、ビジネスや観光の利便性向上に寄与しています。さらに近

い将来、リニア中央新幹線の中津川駅(仮称)が設置される予定であり、岐阜県東部の新たな発展拠点として期待されています。国全体では「国土強靱化構想」が進められ、災害に強い社会基盤づくりが求められています。地震や豪雨災害が増える中、建築物やインフラの耐久性を高める鉄筋工事の重要性はますます高まっています。しかし近年、鉄筋業界は全国的に技能者不足や職人の高齢化が進んでおり、岐阜県内でも同様の課題を抱えています。熟練技能者の引退が増える中、若手の確保と育成は重要な課題です。岐阜県鉄筋組合では、技能検定の受験支援、研修会の開催、魅力ある職場づくりの推進などを通じて、次世代の担い手育成に力を入れています。また、会員企業の価値観として、「地域の建設を支える誇り」を胸に、社員一人ひとりが安心して働き、成長できる環境づくりにも力を注ぎ、安全で働きやすい職場づくり、技術向上の機会提供、家族が安心できる安定した雇用の確保など、社員の幸福を大切にすることを求めています。当組合は岐阜県職業能力開発協会、岐阜県技能士連合会、建設業労働災害防止協会岐阜支部、岐阜県建設産業団体連合会に加入し、広いネットワークの中で業界の発展に寄与しています。岐阜県鉄筋組合はこれからも、地域とともに歩み続ける組織として、高い技術力と誠実な施工を通じて社会に貢献してまいります。そして今年度、私、金神が新理事長に就任し、「鉄を通じて地域社会に貢献する」をキーワードに、組合のさらなる発展と地域への貢献を目指していきます。会員企業が誇りを持って仕事に取り組み、社員が幸福を感じながら働ける環境を整えることこそ、地域の未来を支える力になると確信しています。あわせて、全国の鉄筋業組合の皆様にもご指導ご鞭撻を賜りたく、今後ともよろしくお願いたします。岐阜県鉄筋組合 理事長 金神徹尚

## 組合紹介 岐阜県鉄筋組合

岐阜県鉄筋組合は、昭和54年3月に定款を制定し、岐阜県で鉄筋工事業に携わる事業者が結集して発足した団体です。現在は正会員18社、賛助会員10社が加盟し、地域の建設産業を支える専門組織として活動しています。創立以来40年以上にわたり、技術の向上、労働環境の整備、業界の健全な発展に力を注ぎ、地域の暮らしと産業を支えてきました。

岐阜県は日本のほぼ中央に位置し、愛知県・三重県・滋賀県・福井県・石川県・富山県・長野県の7県と隣接する数少ない海がない内陸県です。県内は大きく飛騨地方と美濃地方に分かれ、それぞれが異なる自然環境と文化を持っています。北部の飛騨地方は北アルプスを望む山岳地帯で、豪雪地帯や急傾斜地など、厳しい気候や特殊な建築技術が求められる地域です。古い町並みが残る飛騨高山や世界遺産・白川郷に象徴されるように、伝統と職人技が息づいています。一方、南部の美濃地方は岐阜市を中心とした都市部から、長良川・木曾川流域など濃尾平野が広がり、産業・物流の中心地として発展してきました。このように地形と自然環境が非常に多彩であるため、地理的特性によって、鉄筋工事においても地域ごとに異なる施工技術が求められています。また、気候的にも変化が大きく、北部と南部では気温差が10℃を超える時もあり、地域によって歩留まりが異なる要因となっています。交通基盤も岐阜県の発展を支える重要な要素です。東海北陸自動車道や東海環状自動車道が飛騨・美濃、さらには東海・北陸・中部圏を結び、広域ネットワークを形成しています。名神高速道路は県南部を東西に貫き、関西・中京圏を結ぶ大動脈として物流・産業活動を支えています。また、東海道新幹線の岐阜羽島駅は県南部の重要な玄関口として機能し、ビジネスや観光の利便性向上に寄与しています。さらに近

トピックス

ご案内

建設業経理検定試験
建設業経理事務士特別研修

建設業経理検定試験

建設業における簿記会計知識の普及と会計処理能力の向上を図ることを目的として、一般財団法人建設業振興基金(以下、本財団)が行う試験です。

1級の合格者は、経営事項審査の1項目である建設業経理の状況点数(W5)における「監査の受信状況点数」のなかで、経理処理の適正を確認できる者として評価されています。また、1~2級の合格者は、同審査項目における「公認会計士等点数」においてそれぞれ評価される資格となっています。

検定試験HP



試験の詳細情報

Table with exam details: 受験資格, 試験実施日, 申込期間, 試験地

建設業経理事務士特別研修

3級・4級建設業経理事務士の資格は、年に1回の検定試験のほかに、本財団独自のコンテンツとして「特別研修」(以下、本研修)でも取得することができます。

本研修は、講義と検定試験をセットにした受験形態で随時実施しており、本研修最終日に実施される試験の合格をもって、3級・4級建設業経理事務士の資格を付与しています。講義を受講後に検定試験を受験できるため、短期間で効率的に知識と資格の両方を取ることができます。

検定試験HP



研修の詳細情報

Table with training details: 受験資格, 試験実施日, 申込期間, 試験地

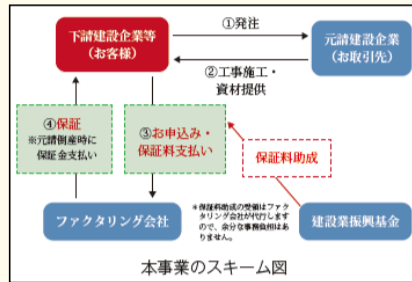
取引先の代金回収・倒産リスクを解消

国土交通省の 下請債権保全支援事業

一般財団法人建設業振興基金では国土交通省の「下請債権保全支援事業」を通じて中小・中堅建設企業の資金繰り改善を支援しています。本事業は下請建設企業が直接契約を結んでいる取引先に対して有する工事請負代金や資材代金の債権をファクタリング会社が保証するものです。

債権は手形や請求書1枚からニーズに合わせて、保証を掛けることが可能です。また、保証履行が発生しない場合は、取引先に保証を掛けたと知られる心配はありません。万一、取引先が倒産した場合は、ファクタリング会社が保証した債権相当分の金額をお支払いしますので、代金回収の不安も解消されます。また、確定債権の「買取」も行っていますので、早期資金化のご要望にもお応えできます。

なお、債権の保証料については、国(建設業振興基金)から助成(保証料率の33%、年率1.5%上限)があります。助成申請はファクタリング会社が行うため、ご利用に当たって手間は増えません。保証料率はファクタリング会社によって異なりますので、別表(お申し込み先)掲載のファクタリング会社に直接お問い合わせください。



お申込先(ファクタリング会社)

Table listing subcontracting companies and their contact information.



一般財団法人建設業振興基金 金融支援課 TEL.03-5473-4575

外国人雇用サポートプランの特長

Support plan details including: サポート1 仕事原因のケガ・病気の補償, サポート2 まさかのための訴訟リスク対策, サポート3 通勤に潜むリスクに対する補償, サポート4 多言語対応の健康サポート



AIG損保

外国人雇用サポートプラン

必要な補償・サービスを選んでいただけますか?

Case studies for the support plan: CASE 1 通勤時のケガ, CASE 2 外国人従業員からの訴訟, CASE 3 自転車通勤中の事故, CASE 4 健康相談

業務災害総合保険(ハイパー任意労災)なら、1つの保険で4つの対策ができます!

令和8年1月14日 会員各位

令和8年度「業務災害総合保険」

評啓 時下甚々ご隆盛の段、心よりお慶び申し上げます。日頃は組合運営につきまじ、ご理解とご協力を賜り、誠に有り難く御礼申し上げます。さて、当組合では会員各位の福利厚生対策および企業防衛対策として、掲記の保障制度を採用しております。当組合といたしましては、会員各位の補償のみならず、従業員に対する補償・福利厚生の実施の一環として、この保障制度は十分お役に立てるものと考えています。

- 採用保険商品: 業務災害総合保険
引受保険会社: AIG損害保険株式会社
保険期間: 2026年6月1日~2027年6月1日

編集後記

衆議院選挙も自民党の圧勝に終わり、高市政権も先ずは安定した政策運営がなされていくものと推測されます。一方、今回の選挙戦で表面化したことのひとつとして外国人の問題があると思われまます。公共の秩序を守らない観光客、野放図な不法滞在者等への対応をどうするか、人口動態を含めた長期計画に基づいた外国人の受け入れを考えなければならぬことが表面化されました。

日本の将来にとってそのような問題は重要な事です。我々鉄筋工事業者にとりましては、日本人の若手技能者を少しでも増やす方法を推進することが第一の目標だと思っております。なかなか集まらない現状においては、鉄筋工として優秀な技能を所持し、日本の職場環境に馴染んだ外国人を育成しなければなりません。全鉄筋傘下の全国各地の組合がそれぞれの立場から外国人材の育成に努めなければならぬと思います。そのような意味でも情報交換の場としてのPOWERの役割は益々重要になっております。

私は若いころから工事現場の第一線で鉄筋組立ての仕事に取り組んできました。そして約1年半前より全鉄筋広報委員会の委員の仲間入りをしていただき、POWERの編集を手伝うことになりました。この様な体験は今迄にはない初めての事であり、私なりに考えている事を申し述べたいと思っております。

POWERの役割は鉄筋工に必要な新しい技術、新しい情報を提供し、全国各地で鉄筋工事に携わる多くの仲間の姿を生き生きと紹介することだと思っております。それと同時に紙面を通して読者の皆様に楽しさと想いの場を提供するものでなければなりません。

有意義な情報を提供し、少しでも多くの仲間から「読んで良かった。」と思われる紙面になるように編集委員の皆さんと力を合わせ、微力ながら頑張りたいと思う今日この頃です。 矢竹 直司

- 編集委員: 委員長 直樹(宮城), 副委員長 宮本(山形), 委員: 木浪(北海道), 矢竹(北海道), 大港(東鉄協), 工藤(神奈川), 女性活躍推進(兼任): 皆川(北海道), 齋藤(東鉄協), 真里(神奈川)